

アンケート回答者：合計14名

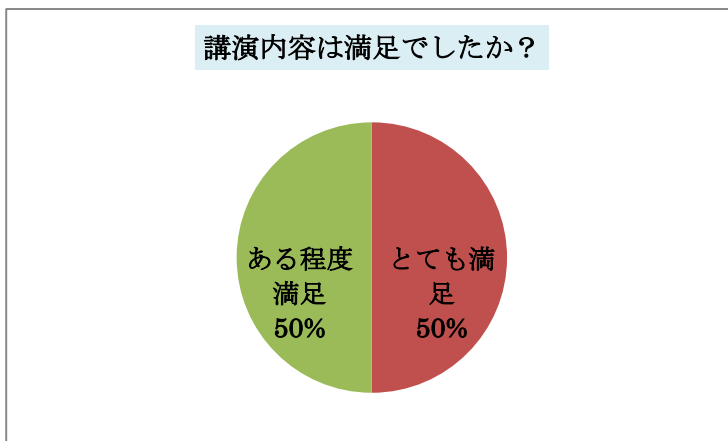
内訳 学部4年 計7名 (教育6、工学1)

修士1年 計2名 (教育)、修士2年 計1名 (教育)

教員 計4名

(1) 講演の内容は満足のいくものでしたか？その理由は？

とても満足した7名・ある程度満足した7名・やや不満だ0名・大いに不満だ0名

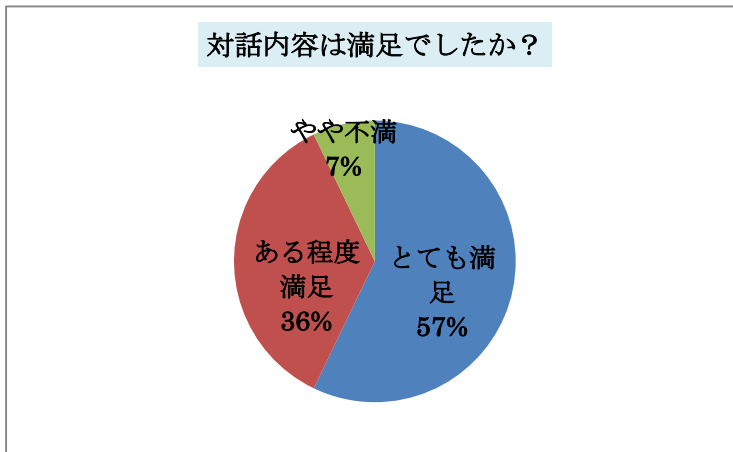


理由

- ・ 原発やエネルギーについて、データを伴った知識を身に付けられた
- ・ 原子力の見方や考え方について知ることが出来た
- ・ エネルギーについて今まで知らなかった知識が増えた
- ・ 今まで見たことのないデータには関心を持った
- ・ 各発電方法のメリット・デメリットを知ることができたため
- ・ 環境に対する認識が変わった
- ・ とても多角的な視点だったから
- ・ 内容が多方面にわたり、広い視野から考えることができた
- ・ 今まで知らない視点があった
- ・ 理科に限らず、幅広い分野の内容を伺え、勉強になりました

(2) 対話の内容は満足のいくものでしたか？その理由は？

とても満足した8名・ある程度満足した5名・やや不満だ1名・大いに不満だ0名

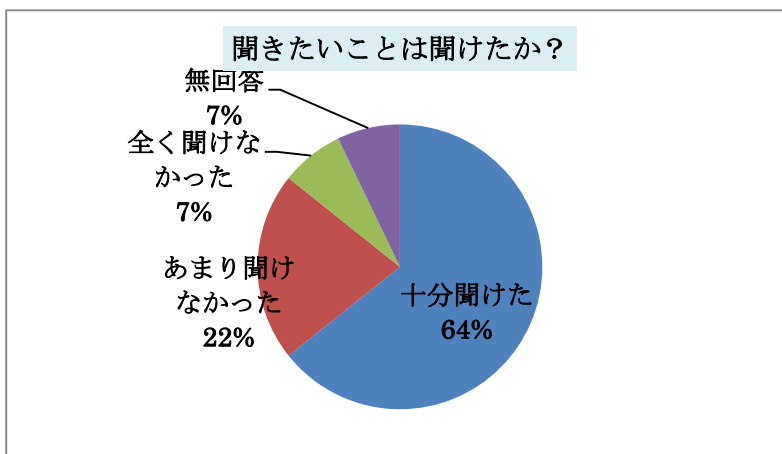


理由

- ・自分の中の原因に対する誤解が解かれたから
- ・教育にどう生かせるのか、何が大切で何を伝えるべきか知ることができた
- ・聞きたいことを聞けた
- ・先生方の話はとても面白かった 知識を増やすことができた ただ、もう少し学生の話す時間がほしいと思った
- ・各発電方法のメリット・デメリットを知ることができたため
- ・自分の意見を発言できた
- ・学生さんに話す時間をもっと確保してあげるべきだった
- ・毎年とても充実している 1日があつと言う間に過ぎました
- ・いろいろな視点で対話できた
- ・実際にいろいろな経験をされてきた方々の生の声が伺え、勉強になりました
- ・(やや不満だ) 3. 1 1 以前と態度が変わっていない その点には失望している

(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？

十分聞くことができた9名・あまり聞けなかった3名・全く聞けなかった1名・無回答1名



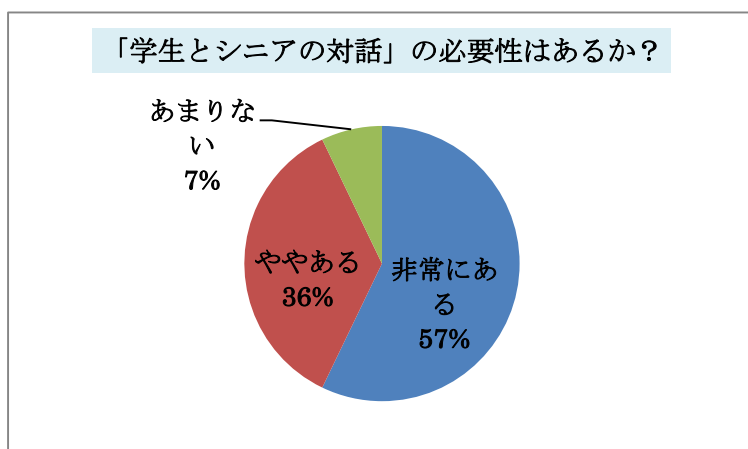
(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？

- ・原発・エネルギー問題に関する多角的な考え、視点
- ・エネルギーに関する授業作りをする上での視点、多角的な視点が必要であること

- ・エネルギー（電気）は貯めることが難しい タンカー 1 隻で日本中の半日の電力しか補えないこと
- ・エネルギーについての正しい知識
- ・特になし 強いて言えば Engineer と Educator の間にある溝の深さを思い知らされた
- ・原子力のメリット
- ・自分自身の意見を持つこと
- ・学生さんの理解を見たこと（若杉注；教員からの意見）
- ・いろいろな疑問が解決された
- ・知識の得かた、今後の教育のありかたについてシニアの方々の知識を頂きました

(5) 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？その理由は？

非常にある 8 名・ややある 5 名・あまりない 1 名・全くない 0 名

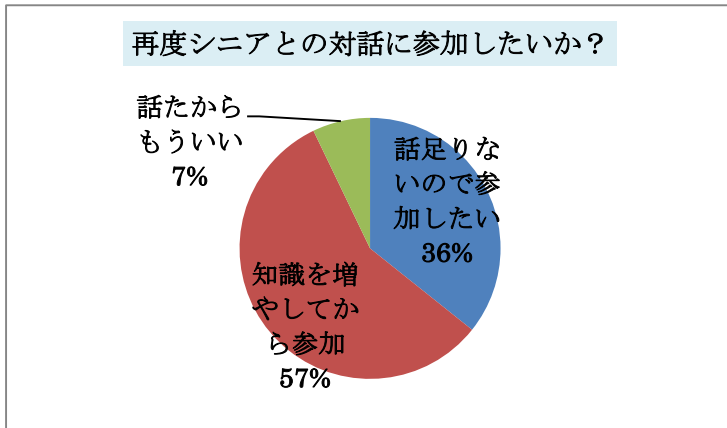


理由

- ・素人知識では分からないデータの入手、説明をして頂ける
- ・生の言葉で原発について聞ける、本などより頭に入るから
- ・色々な角度から知らないことを知ることが出来る
- ・講演以上に細かいところを聞いた
- ・専門的な見方、考え方を知ることが出来る
- ・(若杉注；「あまりない」の回答者から) 一方的な会話では「対話」とは呼べない
- ・話し合い（雑談）の中に有用な考え、視点が多数あった
- ・中3の「科学技術と人間」に生かせると思ったため
- ・教員になってから、研修する時間がなかなか取れないから
- ・学生がエネルギーについて学ぶ大切な機会となっている
- ・やはり何事もプロに聞くことが大切
- ・今後教育に関係する立場の人間として、一社会人として様々な立場の方の考え方に触れることは学生達にとって非常に大切だと感じます こういう貴重な機会を経験でき良かったと思います

(6) 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？

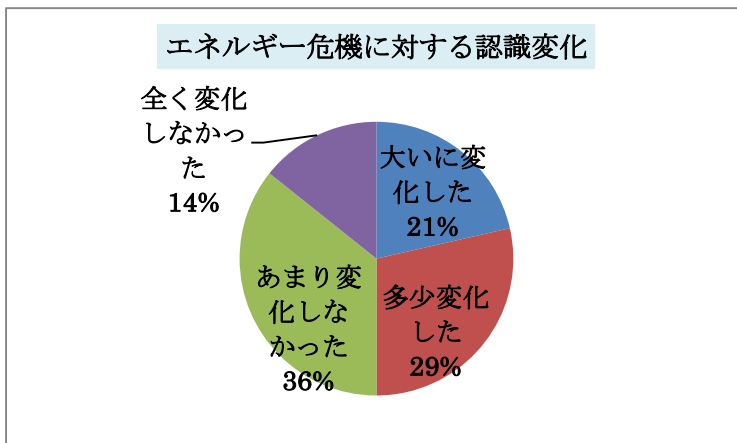
まだまだ話したりないので参加したい 5 名・もっと知識を増やしてから参加したい 8 名・十分話ができたらもういい 1 名・二度も必要ないと思うからもういい 0 名



- ・(若杉注；教員からの意見) 再度勉強し、出た疑問や新しく感じたことについて他の方々がどう考えておられるのか、また意見を頂けたらいいなと思います

(7) エネルギー危機に対する認識に変化はありましたか？その理由は？

大いに变化した3名・多少变化した4名・あまり变化しなかった5名・全く变化しなかった2名



理由

(大いに、多少变化した)

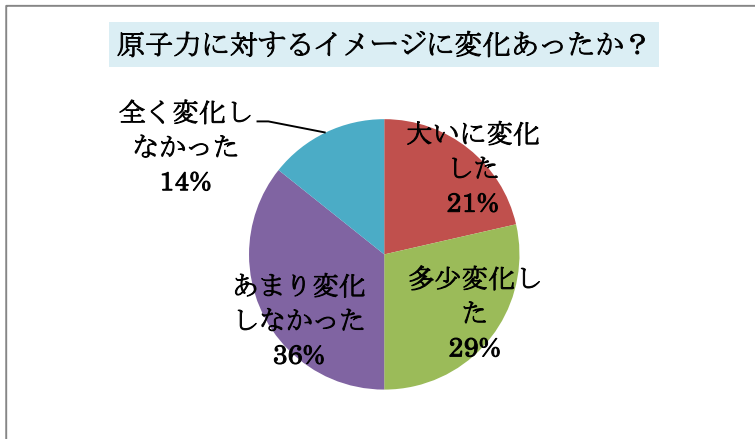
- ・リスク・リターンのより具体的な数値を知ることができた
- ・より身近なものだと感じたから
- ・タンカー30t→と聞いて、量の大きさを知った
- ・普段エネルギーについて深く考えたことがなく、今日考えを深められたから
- ・原子力発電の重要性を知ることが出来た
- ・このままいくと子供達の未来が危ない

(あまり、全く变化しなかった)

- ・もともと自分が思っていたため 元から危機感を持っていたから
- ・新しい知識はなかった
- ・細かい知識は詳しくありませんが、大枠での捉え方は思っていた通りだなと思いました

(8) 原子力に対するイメージに変化はありましたか？その理由は？

大いに变化した3名・多少变化した4名・あまり变化しなかった5名・全く变化しなかった2名



理由

(大いに、多少変化した)

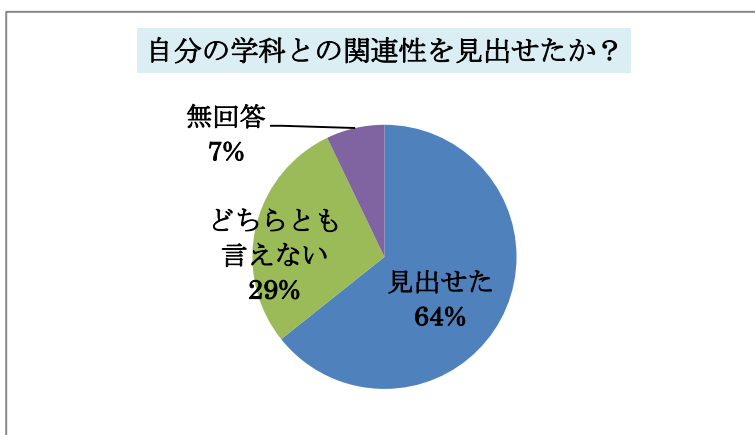
- ・「危ないもの」ではなく、「うまく付き合うもの」だと考えるようになった
- ・経済的な視点から見ることができた
- ・(福島原発事故の) 直接死因が放射線でないこと
- ・メディアより原子力=怖いものというイメージだったが、有用性が多くあることを知った
- ・国の安全保障などについて知った
- ・ニュースなどの報道の知識だけでは不十分なので、もっと知らなければいけないと考える

(あまり、全く変化しなかった)

- ・エンジニアの方とほぼ同じ意見であった 元からシニアの皆さんと同じ立場だから
- ・原子力の重要性に対する気持ちに変化はない
- ・元々報道や世論の手のひら返しに疑問を持っており、思っていた内容と同じことを講義や対話で詳しく伺えたという印象でした

(9) 今回の対話で自分の学科との関連性を見出すことができましたか？その理由は？

見出した9名・見いだせなかった0名・どちらともいえない4名・無回答1名



理由

(見出せた)

- ・これらへの教育方、伝え方について考えることができた
- ・これからは理科、社会において原発は避けられないものだから

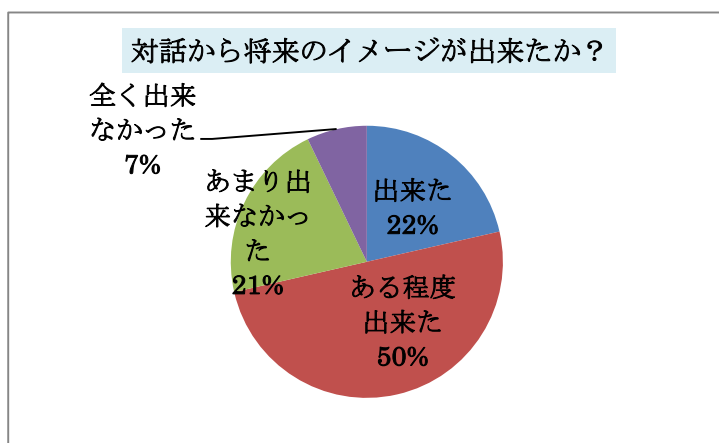
- ・何を子供に伝え、考えさせる必要があるか考えることができた
- ・未来を担う子供の教育に繋げていきたい
- ・エネルギー教育について話合うことができた
- ・学校教育にどのように繋げるかが大切
- ・理科はエネルギーを考える大切な教科
- ・物・化・生・地・理科の各分野と幅広く関わる内容だと感じたので

(どちらとも言えない)

- ・あんまり指導された印象なかった、これからは総合？とかでもとりあげたい
- ・質問の意味がよく分からない
- ・内容が教育というより専門だったから
- ・知識を増やすことはできた

(10) 対話の内容から将来のイメージができましたか？その理由は？

できた3名・ある程度できた7名・あまりできなかった3名・全くできなかった1名



理由

(できた、ある程度できた)

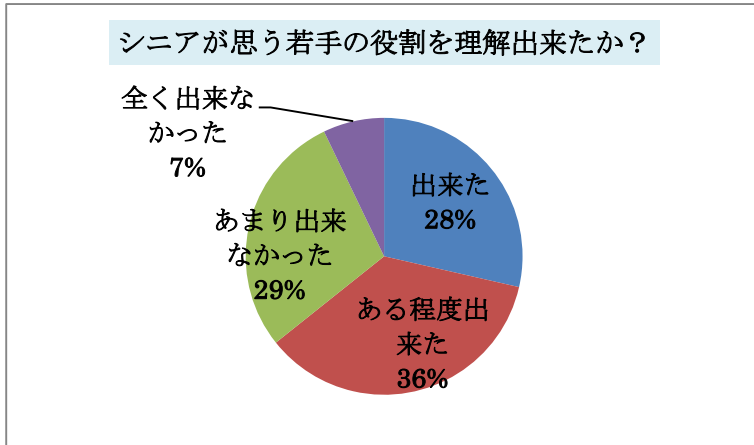
- ・授業でどう生かせるか考えることができた
- ・原発は必要であることは間違いないものだと認識できましたが、どうしても安全なものだとは言い切れないものだから
- ・オープンエンドにする（授業で）、価値観を押し付けない
- ・もっと視野を広くすることで多くのことに気付くことができ、自分の将来に生かせると考える
- ・まだ不確定な部分があるのでしっかり分からない
- ・早く原発を再稼働すべき
- ・原発の今後、エネルギー問題の今後、日本社会の今後、教育の今後、色々な今後のことについて考える良い機会となりました

(あまり、全くできなかった)

- ・今後の教育や社会に対する働きかけ、計画がよく分からなかった
- ・具体的な行動が思いつかない 子供の教育だけで良いのか
- ・進路にあまり結びつかない

(1 1) 対話の中でシニアが思う若手の役割を理解できましたか？またその理由は？

・できた4名・ある程度できた5名・あまりできなかった4名・全くできなかった1名



理由

(出来た、ある程度出来た)

- ・正しい知識の橋渡し
- ・若い人が認識を変える、またはまず興味を持たなければならないから
- ・子供に教えるにはどのようにしたらいいかを理解出来た
- ・学んだことを子供に伝え、いろいろな考えを持たせる必要があると感じた
- ・教育職に対する思いの大きさをありがたく思っています
- ・若手の理解が大切
- ・全体像を見て一事を万事と思わず、自分の意見を持てる大人に若手自身になること、そしてそういう子供を育てることのできる大人になることが求められているように感じました

(あまり、全く出来なかった)

- ・あまり質問が出来なかった 聞くことしか出来なかった
- ・対話の中で理解出来なかった
- ・対話とは呼べるものでなかったから
- ・畑が違うので、お互いの立場を理解出来ていない

(1 2) 自分が思っていた若手の役割とシニアの考えは違いましたか？どのような違いがありましたか？また、シニアの考えを聞くことで、自分の考えに変化はありましたか？できるだけ詳しくお答えください。

- ・自分が思っていた若手の役割はシニアの考えと同じでした 元々同じ考えなので変化なし
- ・てっきり何も知らない学生に原発の良さを刷りこむものだと思っていましたが、私の誤解で、ひとつひとつ丁寧について頂けてうれしかった
- ・原子力発電を良いもの悪いものと区別するだけでなく、自分なりの意見を持つ必要がある
- ・原発について電気という観点だけでなく、経済等様々な観点から考えていく必要があると感じた
- ・安全性と思考
- ・役割について考えを持っていなかった

- ・原子力は発電だけでなく国の安全にも関わっていた
- ・知識面では私自身勉強不足を日々痛感しており、本日も勉強不足を感じました 考えについては私自身が日々感じていたことを再確認できたという気持ちです

(13) 本企画を通して全体の感想・意見などあれば自由に書いて下さい。

- ・これからはもっと自分のこととして原発、エネルギーについて考えていけるように努力したい
- ・今日学んだことを子供に伝え、一人一人が考えを持てるようにしていきたいと感じた
- ・エネルギーについて深く考える機会が得られたのは良かったと思う
- ・教育に特化した講義もほしかった
- ・ぜひ来年以降も開催してほしいと思います これからもこのような企画をお願いします
- ・本日はありがとうございました 「日教組の日本の未来を危うくする主張」を見極める力を付けないといけない
- ・知識の得かたについて、自分とは違う世代の方々がどう捉えておられるのかが分かった気がします ありがとうございました

若杉感想

対話会後のアンケートを集計して感じたことを下記する。

- ・参加者は概ね、エネルギー・原子力についてマスコミにはない多面的な知識を対話会から得られたとして満足している。また、もっと勉強してこのような対話会に再び参加したい、来年も開催して欲しいとの意見が多数あった。
- ・エネルギーに対する危機意識や原子力に対するイメージについては、変化したと変化しなかったが半半に割れた。変化した主な理由はエネルギーや原子力の役割をあまり考えなかったから、変化しない理由は元々シニアと同じ考えであったから等としている。福島原発事故前の対話会では「目から鱗」的な回答が多かったが、この傾向の変化は事故によって多くがエネルギーや原子力を考えるようになったためではないかと思う。
- ・全体的に、将来子供達にどのように教えるかとの視点からの意見が多かった。教育系大学生であるから当然ではあるが、目的意識を持って真摯に対話に臨んだ姿勢がうかがわれる。ただ、自分自身の意見が持てるように子供を育てたいとの意見が複数あったが、何も知らない子供にはまず正確な知識を与えることが先決であることを分かって欲しいと思う。
- ・参加者のレベルにかなりの開きがあったように、アンケート回答内容から読み取れる。教員の立場にある参加者はさすがに内容があり、重い意見が書かれていた。教育現場は正に将来を担う若者を育てる大切な場であり、これらの方々には特にエールを送りたい。

以上